

科目名	音楽	英語科目名	Music
開講年度・学期	平成28年度・前期	対象学科・専攻・学年	1年 機械、電気電子創造・物質工学 (美術との選択)
授業形態	講義・演習	必修 or 選択	必修
単位数	1単位	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	鈴木久美子 (非常勤講師)	居室 (もしくは所属)	非常勤講師控室
電話		E-mail	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
1. 小・中・高校の音楽の授業で学ぶレベルの楽典の知識を習得できること。	①		
2. 実践活動を通じて、計画を立てて行動し、振り返りを行い、必要に応じて反省・修正する一連の流れを実践すること。	②		
3. 実践活動の中で、グループ内での自分自身の役割を考え、行動できること。	②		
4. 実践活動の中で、グループの目標を達成するために、自発的に行動できること。	②		
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
上記、到達目標に対して60%以上の成績で到達とする。			
評価方法			
<p>実践活動、小テスト、レポート提出による評価。</p> <p>*実践 35%、レポート課題 35%、小テスト 30%</p> <p>以上の合計で評価する。</p>			
授業内容			
<p>①基礎音楽・・・音階の成り立ち (調号、全音半音の関係)、調の判読 (長調・短調) の学習。 リズム構成、音の高低の組み合わせによる即興演奏を行う。 色々なジャンルの音楽を聴く。観る。 (4週)</p> <p>②実践活動・・・A ハンドベル B 楽器づくり C ボディパーカッション D その他 (合唱、リコーダー、その他) (前半5週)</p> <p>③中間発表・・・実践活動の内容を発表する (1週)</p> <p>④実践活動・・・A, B, C, D の活動を継続する。 (後半4週)</p> <p>⑤発表・・・成果発表 (1週)</p> <p>◆講義方法◆ 「音楽」の創作をするためにはどうしたら一番良いか、どのような方法があるかを「音楽が持つ役割」「音の構造」「音楽的理解」「音楽的アイデア」などの情報を提供しながら、実践活動を通じて「計画、実行、振り返り、修正」に取り組みさせる。</p>			
キーワード	目・耳・心・身体・言葉・創作・アイデア・可能性・表現・主張		
教科書	使用しない		

参考書	特に指定なし
カリキュラム中の位置づけ	
前年度までの関連科目	-
現学年の関連科目	-
次年度以降の関連科目	-
連絡事項	
<p>◆ 連絡事項 ◆</p> <p>音楽には自由な発想が大切です。既成の音楽への理解、また鑑賞することなども大事なことです。今期は特に自分たちのアイデアや可能性をのびのびと表現して、「音楽の楽しさ」を皆で共有してほしいと思います。</p> <p>◆ 学生達へのメッセージ ◆</p> <p>高専は「物作り」の学校です。音楽を通して自己の感性を磨き、またアイデアや可能性を探す手がかりを得るという事は「物作り」にも大いに関係の深い事となります。この授業を通して色々な事にチャレンジしてください。複雑さを持たない複雑さを大事にしてください。</p>	
シラバス作成年月日	平成28年2月15日作成